

# ひろしま 市社協通信

2018 SPRING

NO. 63

発行・編集／社会福祉法人 広島市社会福祉協議会  
2018年3月発行

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号(BIG FRONT ひろしま 6階 広島市総合福祉センター内)  
TEL 082-264-6408 FAX 082-264-6416 (ボランティア情報センター直通)  
URL: <http://shakyo-hiroshima.jp/> E-mail: [voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp](mailto:voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp)

平成29年度

## 地区社協役員等 実践講座を開催!

～民生委員活動について理解を深めよう～



去る平成29年12月19日(火)に地区社協関係者を対象とした「地区社協役員等実践講座」を開催し、151名の参加をいただきました。

今年度は、民生委員制度創設から100周年を迎えたこともあり、その歴史や活動の実際について学び、理解を深めることを目的として講座を開催しました。

最初に制度紹介として、広島市民児協の事務局である広島市健康福祉局地域福祉課から広島市における民生委員・児童委員の選任状況や活動内容、制度創設100年の歴史をDVDの視聴を交えて紹介いただき、続いて広島市民児協会長の佐々木繁盛氏から「民生委員・児童委員の活動の実際」というテーマでお話いただきました。個々の民生委員の動きや組織としての動きなど事例を踏まえながら分かりやすくご紹介いただきました。

次に大町地区民児協会長の部村二三男氏と安芸区民児協副会長の住本照文氏からそれぞれの地域での活動紹介をいただきました。大町地区民児協では地域の史跡や歴史をモチーフにした「かるた」やそれらの場所をめぐる「すごろく」を作成し、子どもたちも含めて地域を知ってもらうためのきっかけづくりができたとのことでした。また、安芸区民児協では「地域ぐるみの子育て運動の推進」ということで、昭和60年から

瀬野川地区で青少年健全育成標語の募集と掲示、家庭の日の感想文の募集を始め、平成3年から安芸区内全体の取組として実施をされているとのことでした。お話の最後に朗読された「家族への感謝」を表した小学生の作文に感動し、涙した人もいました。

そして、最後に昨今では町内会加入者が減少傾向にあることから、地域活動を進めていくことが困難な状況が出てきており、この問題を打開するためにも地域で行われている様々な町内会加入促進の取組紹介を広島市市民局市民活動推進課からご紹介いただきました。

参加者からは民生委員活動の大変さは知っていたが、改めて幅広い活動内容や地域の「つなぎ役」といった役割を担っていることを認識できたという声がありました。また、地域の担い手にもつながる町内会加入促進の取組についても事例を参考に地道に取り組んでいきたいという声もありました。

今回の活動紹介等をきっかけに社協と民児協との更なる連携を深めていけるよう、引き続きお互いの情報共有を進めていけたらと思います。

この記事に関する  
問い合わせ先

福祉課 地域福祉係  
TEL 082-264-6403 FAX 082-264-6413

前号につづき、「就労訓練事業」に取り組んでいる2法人の取組を、1月30日(火)に開催した「広島市社会福祉施設経営者・施設長研修」での実践報告を元に紹介します。

左から「桜が丘愛育園」の高屋副園長  
地域貢献推進委員会の川崎委員長  
「慈光園」の藤井事務長▶



## 地域貢献に積極的に取り組む社会福祉法人①

### 社会福祉法人 桜が丘学園 **桜が丘愛育園**



地域との交流は、平素から当たり前のことと考えていますので、「これも何かのご縁、協力しよう。」となり、就労訓練事業所の認定を受けました。

訓練生に依頼した作業は、日頃、気にはなっていたけどなかなか手が出せなかった環境整備です。おかげで、園内がきれいになり、新しい花も咲いています。

保育士には元気の良い挨拶と笑顔で接することを指示したのみで、訓練生への対応は園長と副園長がしました。作業成果に関わらず、挨拶や感謝の言葉かけを行うコミュニケーションを大切にしました。また、子どもが何気なく気づき、近づいてくる場所で作業してもらうことで、子ども達が「ねえねえ、何しよるん…。」

と遠慮なく、自然に声をかけてくれました。

実はこれ、子どもの明るい声に接してもらって、子どもの力を借りて、コミュニケーションをつ

くっていきたいというねらいをひそかに持っていたのですが、このねらいが見事に達成されました。

実際に受け入れた2名の訓練生は、はじめは挨拶がやっとできる状態でしたが、次第に自ら「●●しましょうか。」という積極的な声も出せるようになりました。また、自分のことを話してくれるようになり、本人の得意なことも紹介してくれるようになった時には、内面の変化を感じたと同時に、本人への尊敬の気持ちが強くなっていきました。

それぞれの施設には、リスクマネジメントの問題もありますが、支援の必要な方には手を差し伸べるのが、福祉の基本と考えます。

## 地域貢献に積極的に取り組む社会福祉法人②

### 社会福祉法人 慈光会 **慈光園**



日頃から、高齢者や子どもたちとの交流を行っています(子育てじばーく、じこう食堂、じこう塾、サマーじこう)。また、障害者雇用やワークシェアリング(未就学児の親が園内の託児所を利用して短時間就労を行っていただく仕組み。現在10名登録中)も行っています。

「困っている方がいればお役にたちたい。」という統括園長の方針の下、各部署のリーダーが集まり、訓練生にどのような仕事をしていただくか、話し合いを持ちました。介護経験のない方を受け入れることに

なることから、居室の掃除やシート交換、調理補助を基本にお願いすることにしました。

実際に1名受け入れました。ワークシェアリングを行っているお母

さんの中から3名の方を担当者とし、2人一組で上記の作業をしてもらいました。

順調に進んでいたと思っていたのですが、突然、ご本人の申出により訓練中止となりました。ワークシェアリングの方々のモチベーションが下がったのが気になるのですが、このような支援の必要な方の存在を知り、また実際に関わることができたことで、学ぶことも多くありました。今後も訓練生受入れの要望があれば、応えていきたいです。

### 生活困窮者生活再建サポート事業参加法人(平成30年2月20日現在)

拠出法人(50音順)：交響 三矢会 サンシャイン 正仁会 松風会 慈光会 慈楽福祉会 清流 天友会 似島学園 広島市手をつなぐ育成会 広島常光福祉会 広島良城会 三篠会 微妙福祉会 もみじ福祉会 和楽会 計17法人 280,000円 ※支援実績は9名となっています。 ※社会福祉法24条第2項の「地域における公益的な活動」です。

このページの記事に関する問い合わせ先

福祉課 事業係  
TEL 082-264-6404  
FAX 082-264-6413



岡部さんによる講演の様子

# 防災セミナー

「防災のプロに教わる!!

大切な命を守る片付け&備蓄術」を開催!



会が共催で防災セミナーを開催しました。

インフルエンザが流行し、キャンセルされる方も多くおられましたが、約130名の参加がありました。

全国各地で講演されている「岡部梨恵子さん(防災アドバイザー、整理収納アドバイザー)」にお越しいただき、避難時に必要な物品や避難所での生活の状況、日頃から備えておけば良いもの等、お話していただきました。

岡部さんご自身で試されて、良かった防災グッズを紹介され、参加者も実際にグッズを手にとり、岡部さんに

質問したり、写真を撮られるなど、高い関心が示されました。

参加者からは、「先生の実体験に基づく内容に感激した。これまで参加したどのセミナーよりも参考になりました。」、「自分の意識を変えなくてはと思った。自助の大切さ、知ることの大切さを知った。」といった感想をいただき、とても盛況でした。

先生のお話をうかがい、自分と家族の身を守るためには、日頃からの備えや家族との情報共有が必要だ!ということを改めて感じました。



グッズの紹介

## 施設の担当者向け // ボランティアコーディネーター養成講座を開催しました!



▲講師の永井 美佳さん

1月20日(土)に広島市総合福祉センターで、施設のボランティア担当の方を対象に、NPO法人コミュニティリーダーひゅーるぽんと共催で講座を開催しました。

永井美佳さん(大阪ボランティア協会理事・事務局長)にお越しいただき、「ボランティア活動とは何か」、「ボランティアコーディネーターの役割」についてエピソードを交えながらお話していただきました。

受講者からは「ボランティアや支え手の育成をしているが、動機づけから育成、活動の継続・発展、それぞれのプロセスでいろいろ困っている。本日受講してとても励まされた。」「ボランティアに対する考え方を教わった。色々な施設の実体験を聞くことができよかった。先生の話がとても分かりやすかった。」などの声が寄せられました。

今後もボランティアコーディネーターやボランティア担当の方が、不安なくボランティア調整できるように、講座を開催していきたいと思ひます。

## 企業向け 平成29年度 福祉教育・福祉体験講座



▲高齢者疑似体験の様子

本会では、「地域における福祉教育の推進」を目的とし、福祉教育・福祉体験講座を開催しています。

今年度は、1月18日(木)に企業の社会貢献担当者を対象に開催しました。7社から8名の参加が

あり、社会福祉士の池口 良子氏による講義や高齢者疑似体験を通して、超高齢社会の現状、高齢者の特性、配慮の方法を学ぶとともに、社会貢献活動に関する情報交換の時間を設けました。

受講者からは、「高齢の方がどのように大変なのか体験することができた。今後の取組に活かしていきたいと思った。」「他社の地域貢献の取組や課題、社協のサポート体制を知ることができて良かった。」等の声をいただきました。

今後も引き続き、本講座を開催し、地域における福祉教育の推進に繋げていきたいと思ひます。



▲グループワークの様子

## 情報資料室をご利用ください



広島市社会福祉センターから広島市総合福祉センターに移転して1年が過ぎました。

図書の見学や貸出を行っている情報資料室は、会議室等の利用をされる方が立ち寄られ、資料の見学や図書を借りられる方が増えました。図書を借りられた方から、「ふらっと来てみたが、読ん

でみたい本があった。」「色々な資料があって参考になった。」などの声が聞かれました。

福祉に関する図書や資料、DVD(ビデオ)を揃えていますので、福祉に関心のある方、福祉分野の学習をされている方など、是非ご利用ください。

※図書や資料、DVD(ビデオ)については、本会ホームページでも検索可能となっております。



この記事に関する問い合わせ先

ボランティア情報センター TEL 082-264-6408 FAX 082-264-6416

## 共同募金へのご協力ありがとうございます。



住民一人ひとりの「たすけあいの心」に支えられてきた共同募金運動も、平成29年で運動創設70周年を迎えることができ、皆さまの長年にわたるご理解とご支援に深く感謝申し上げます。

広島市共同募金委員会は、今年度も、募金目標額を「1億円」として運動に取り組み、平成30年2月15日現在で募金額8,155万円あまりのご協力をいただいています。

寄せられたご寄附は、皆さまのお住まいの身近な地域での福祉活動や様々なボランティア活動のほか、地震や豪雨などによる大規模災害での被災地で求められる支援活動などに役立てられています。

これからも、地域の中で善意と資金が循環する住民相互の助け合いのシステムとして、皆さまのご寄附と感謝が結びつくよう取り組みますので、「赤い羽根共同募金運動」へ一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



問い合わせ先 広島市共同募金委員会

TEL 264-6400 FAX 264-6437  
〒732-0822 広島市南区松原町5-1 BIG FRONT ひろしま6階  
広島市総合福祉センター内

## まごころ銀行へのご協力ありがとうございます。

本会まごころ銀行に、次の皆さまから尊いご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。  
(平成29年11月11日～平成30年1月31日)

●一般寄附者  
そごう・西武労働組合 広島支部 様  
宗教法人 真如苑 様

●物品預託者  
【車いす】株式会社アルプス技研 様  
【食品等】宮崎 様

皆さまからお寄せいただいた浄財は、高齢者・児童・障害者の福祉など明るい地域社会を築くために活用させていただきます。

◆この記事に関する問い合わせ先◆  
【総務課】TEL 082-264-6400 FAX 082-264-6437

## 社会福祉法人広島市社会福祉協議会賛助会員を募集しています。

本会の活動にご賛同いただき、「賛助会員」としてあなた(貴社・団体)も地域活動に参加してみませんか。納めていただいた賛助会費は、地域福祉推進の基礎的団体である地区(学区)社会福祉協議会の拠点事務所の運営等のために使います。

賛助会費 法人 1口 10,000円 個人 1口 1,000円

※口数は何口でも結構です。

※本会は社会福祉法人ですので、個人の場合は「寄附金控除」「住民税税額控除」、法人の場合は「法人税法上の損金算入」ができます。

賛助会員へのご協力ありがとうございます。

次の方々からお申込みをいただきました。【平成29年4月1日～平成30年1月31日(敬称略 順不同)】

法人 95社 134口

株式会社中国放送、サーマエンジニアリング株式会社、水中総合法律事務所、株式会社エイジェックフレンドリー、広成建設株式会社広島支店、ゼネラル興産株式会社、株式会社やまび、西日本オフィスメーション株式会社、株式会社バルコム、オタフクホールディングス株式会社、岡本電機株式会社、OD倶楽部、補助タクシー株式会社、広島駅前当株式会社、協同組合広島総合卸センター、株式会社テレビ新広島、いでした内科・神経内科クリニック、株式会社福屋、ファーマシー薬局広島タワービル、広島修道大学、楽々屋草津店、広島文化学園大学・短期大学、広島流通センター株式会社、日本基準寝具株式会社、広島医療生活協同組合、財団法人中国電気保安協会、株式会社 Taisei、株式会社インパルスコーポレーション、株式会社紀陽、沖本眼科、からだ元気治療院、正岡病院、山本皮膚科医院、広島パークヒル病院、広島シーサイド病院、マツダ病院、西広島リハビリテーション病院、ぎおん浄廊(有信株式会社)、株式会社桐原容器工業所、その他56社

個人 1,806人 2,803口

志賀 賢治、上口 雅彦、山本 正己、外和田孝章、影本 正之、松村 司、西本 和弘、大杉 健仁、北吉 孝行、倉石 雅基、高山 信明、三村 義雄、寺本 公彦、若林 健祐、荒本 徹哉、榎野 晋也、竹崎 道子、佐藤 進、幾田 貞利、山田 隆弘、前田 久治、西方美智代、原口 晋介、南 直子、久保 久子、大村 和子、小松 清志、天島 重博、藤田 剛克、中川 弘基、道下 真穂、森川 康男、登 浩二、大田 恒二 その他1,772人

※紙面の都合上、全ての方についてご紹介できませんが、本会のホームページにて、掲載可とされている方についてはご紹介しております。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。これからも、地域福祉を推進する本会をご理解いただき、様々な地域活動に積極的に参加していただくとともに、今後も賛助会員としてご支援ご協力をお願いいたします。

◆この記事に関する問い合わせ先◆ 総務課 TEL 082-264-6400 FAX 082-264-6437